

## 専門試験(農業)

【例題1】 農業および農村の役割に関する次の記述ア～エの正誤の組合せとして妥当なのはどれか。

- ア. 農家の生産物を、収穫後にその地域で販売することにより輸送費をおさえられ、フードマイレージも減らすことができる。
- イ. 近年、農業と農村の快適性が注目され、ガーデニングや市民農園、田舎暮らしや定年帰農などが関心を集めている。
- ウ. 農村は貴重な社会教育の場でもあり、作物や家畜に直接触れることで、生物の仕組みと生命の尊さを学び、育てる体験を通して生産の喜びや苦勞を知ることができ、食物の大切さなどを実感するようになる。
- エ. 農業や農村は、日本の文化や景観の継承にも役立っており、日本ではWHOによって5つの地域が世界農業遺産に認定されている。

	ア	イ	ウ	エ
1.	正	正	誤	誤
2.	正	正	正	誤
3.	正	誤	正	正
4.	誤	誤	正	正
5.	誤	誤	誤	正

正答 2

[例題2] 野菜の安全性に関する記述として妥当なのはどれか。

1. ポジティブリスト制度とは、農業の生産活動で栽培管理、収穫、流通などの各工程で、正確な実施、記録、点検、評価を行う制度のことである。
2. 同じ畑に何年も同じ野菜をつくり続ける連作は、計画的に作付ける輪作に比べて病気や虫の被害を受けにくい。
3. 商標法とは、植物の新品種の創作に対する保護を定めた法律のことである。
4. 豊かな自然とのふれあいを求める市民と、地域の活性化をはかろうとする農村の要求とが相互交流を活発にさせることを、園芸セラピーという。
5. 有機栽培では、環境や人に優しい栽培を目指し、油かすや堆肥、わらなどの有機物を中心とし、無機肥料のうち天然の硫酸カリや苦土石灰などが土づくりに用いられる。

正答 5